



# 「第30回 国公立大学情報システム研究会総会」

(2022年3月11日開催)  
総会議事・開催後アンケート結果 (サマリ)

---

2022年3月  
IS研事務局

## 第30回 国公立大学情報システム研究会総会プログラム

内 容 (発表者名敬称略)	
開会挨拶	IS研 会長 大分大学 教授 吉田 和幸
議 事	IS研 事務局
【論文①】「キャンパスネットワーク構成変更時における教員への対応に対する取り組み」	愛知教育大学 総務・企画部 企画課 情報企画室 情報技術係 専門職員 佐合 尚子
【九州ブロックからの事例発表】「鹿屋体育大学スポーツ情報センター近況報告」	鹿屋体育大学 スポーツ情報センター・センター長 和田 智仁
【論文②】「Apple School ManagerとApple Configurator 2を利用したiPad活用」	三重大学 教育学部 教授 山守一徳
【近畿ブロックからの事例発表】「大阪教育大学の情報化推進の現状」	大阪教育大学 情報基盤センター センター長 佐藤 隆士
【論文③】「大阪教育大学における小・中・高等学校向けネットワーク分離の実践報告」	大阪教育大学 情報企画室、情報基盤センター 松井 聡治、佐藤 隆士
【東海ブロックからの事例発表】「東海地区における活動について」	岐阜大学 情報連携統括本部 教授 村上 茂之
【論文④】「コロナ禍における大学LMSの利用状況」	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 准教授 小島 篤博
【北陸ブロックからの事例発表】「IS研北陸地区ブロック事例発表・活動報告」	金沢大学 学術メディア創成センター 助教 東 昭孝
【論文⑤】「長崎大学キャンパスネットワークの更改」	長崎大学 ICT基盤センター 准教授 柳生 大輔
【東北・関東ブロックからの事例発表】「一橋大学における情報セキュリティの取り組みについて」	一橋大学 情報基盤センター 講師 中田 亮太郎
【論文⑥】「セキュリティ対策申請システム」による多要素認証への移行」	島根大学 研究・学術情報本部 総合情報処理センター 講師 石原 由紀夫
【論文⑦】「兵庫県公立大学法人の情報システムの設計と構築」	兵庫県立大学 学術総合情報センター 准教授 林 治尚
閉会挨拶	IS研議長 横浜国立大学 国際戦略推進機構 学長特任補佐 徐 浩源

- ◆日時：2022年3月11日（金） 13:00~18:15
- ◆参加者数：34名（大学関係者のみ）※その他（富士通Japan株式会社）：23名
- ◆参加大学

愛知教育大学（4名）・大分大学（3名）・大阪府立大学（2名）・大阪教育大学（3名）・金沢大学・鹿屋体育大学・熊本大学  
 岐阜大学（2名）・島根大学・長崎大学（2名）・一橋大学・福井大学（3名）・兵庫県立大学（2名）・北陸先端科学技術大学院大学（3名）  
 三重大学・宮崎大学（2名）・山形大学・横浜国立大学

# 議事

1. 議事において、下記議案が参加された会員より了承を得て可決された。

【ご報告】 2020年度 決算報告

－会計監査：宮本先生より監査実施済

【1号議案】 2021年度 決算報告(仮)  
2022年度 予算(案)

【2号議案】 会長交代について

2021年度まで：大分大学 教授 吉田 和幸 様

2022年度より：横浜国立大学 学長特任補佐 徐 浩源 様

【ご報告】 退会について

奈良女子大学様のご退会

2. 発表について

論文（7件）、各ブロックからの事例発表（5件）

# 開催後アンケート結果

1 アンケート概要

2 回答結果

# アンケート概要

## 目的

- ①参加のきっかけ、満足度などを収集し、総会の改善を図る
- ②参加大学の状況・重点テーマ等を収集し、IS研の今後の活動の活性化を図る

## 実施期間

2022年3月11日（金）～ 2022年3月25日（金）

## 対象者

本総会参加申し込み者  
（IS研会員・その他大学関係者）

## 方法

記名方式による調査、クアルトリクスアンケート基盤のアンケート機能

# アンケート回答状況

◆ 回答数 / 対象者数 : 22 / 34 (大学関係者のみ)

◆ 回答率 : 64.7%

◆ 回答された大学・学校名

愛知教育大学(3)  
金沢大学  
長崎大学(2)  
三重大学

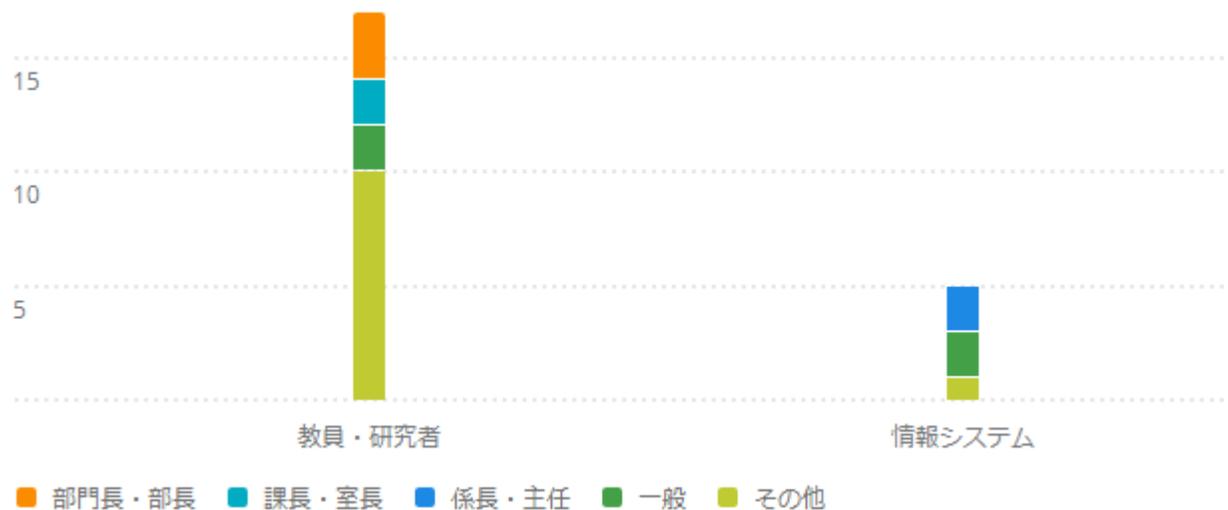
大分大学(3)  
鹿屋体育大学  
一橋大学  
山形大学

大阪教育大学(2)  
熊本大学  
兵庫県立大学  
横浜国立大学

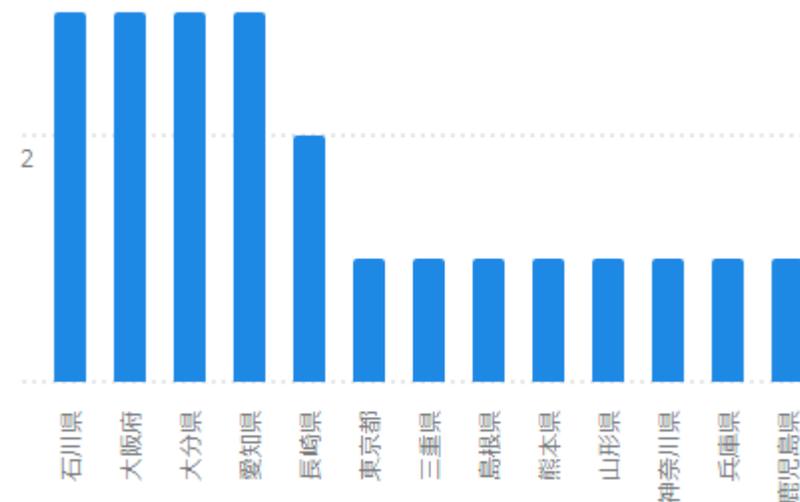
大阪府立大学  
島根大学  
北陸先端科学技術大学院大学(2)

# アンケート回答者属性

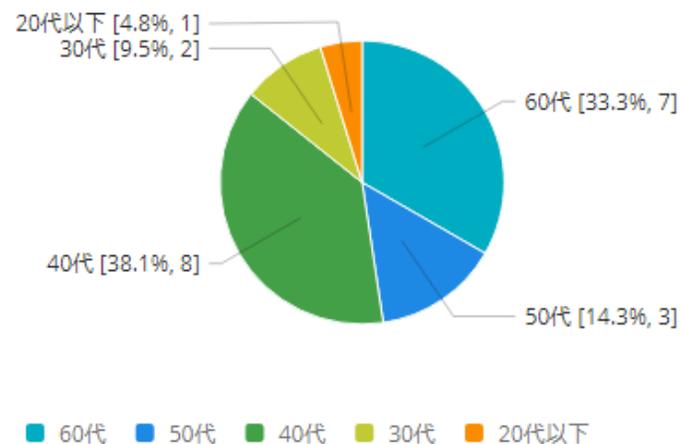
## ■ 担当業務と役職



## ■ 都道府県



## ■ 年齢層



# アンケート設問 (1/2)

## 『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

1. 有益または参考になった発表を教えてください。
2. 本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。
3. 貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。

## 『大学の重要課題』に関する設問4～5

4. 以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください
  - データドリブンの学生支援と成長促進
  - 場所を選ばない試験環境（入試や定期試験への対応）
  - 時間と場所を選ばない学修環境（オンデマンドやハイフレックスへの対応）
  - リモートによる学び方・働き方改革
  - 入試業務・受験生手続きのデジタル化
  - 学生や保護者からの問い合わせ対応の自動化
  - 情報システム基盤の管理業務からの解放
5. 4.のテーマ以外に貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。

# アンケート設問 (2/2)

## 『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

6. 今回の総会に参加した目的を教えてください。
7. 本日のイベント全体の満足度を教えてください。
8. 満足度評価の理由を教えてください。
9. 総会の以下の項目について、それぞれの満足度について教えてください。  
(各ブロックからの事例発表 / 論文発表 / 時間配分 / 当日の運営)

## 『IS研への期待・意見』に関する設問10~12

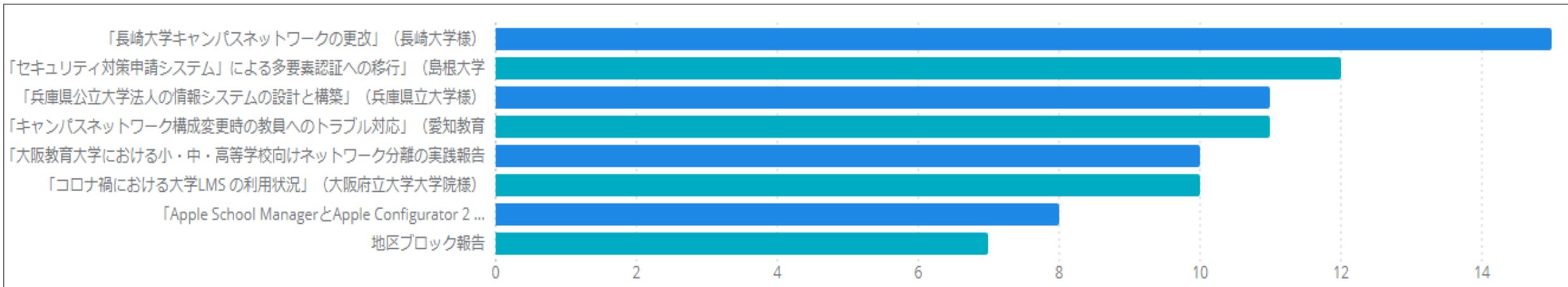
10. 今後のIS研総会への参加方法についてご希望を教えてください。
11. 10.のご回答の理由を教えてください。
12. IS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

# アンケート回答 (1/10)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

設問1

有益または参考になった発表を教えてください。(一部抜粋・省略)



- 有益または参考になった地区ブロック報告
  - ・東北・関東 (2票)
  - ・東海、北陸 (各2票)
  - ・九州、近畿 (各1票)

# アンケート回答 (2/10)

## 設問2

本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。(一部抜粋・省略)

### ■ネットワーク環境について

- プライベートIP化が進んでいること.
- ネットワーク関係, 多要素認証関係
- 多要素認証、コロナ禍での対応、ネットワーク更新など参考になる点が多かった

### ■情報部門について

- 情報部門の位置付け、スタンス等様々であるが、それぞれ工夫が見えて自大学に置き換えて考える参考となった。
- システムの構成を変更することそのものはコストを掛ければできるが、一般利用者に対するサポートなどのノウハウは、他大学の実践事例・経験がとても有用である。

### ■DXについて・その他

- 多くの大学で、DX化が課題となっているという印象を受けた。「大学におけるDX化」とは何かを考える良いきっかけになったと感じる。
- コロナ禍の中で各大学での取り組みなどの情報が共有されたことは良い成果。  
また、今後の方向性に関する取り組みは、金沢大学と長崎大学の報告はとても印象的。  
ただし、もう少し皆が共通する今後の課題のディスカッションと価値のある取り組みのノウハウについて理解をさらに深めることが望まれる。

# アンケート回答 (3/10)

## 設問3

貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。 (一部抜粋・省略)

### ■提案力

- 他大学や社会の状況を踏まえ、自大学に必要なセキュリティシステムの提案をしてほしい。
- ベンダーは、大学方向性（中期目標・中期計画など）について大学関係者と意見交換を行い、また、より良い先進的な大学を作るために必要なITインフラとサービスについても提案などを積極的に行うことが期待しています。
- 提案能力

### ■サポート力

- 安定した運用を支援してくれる技術

### ■ソリューション

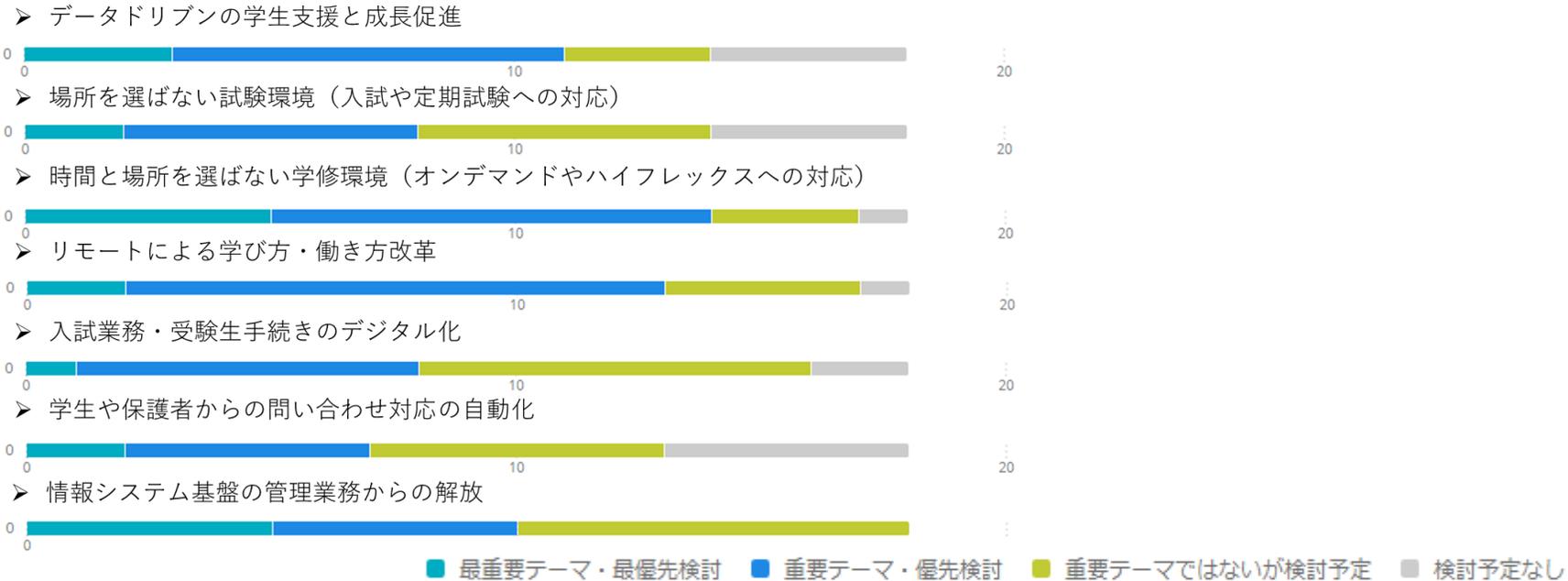
- SDGsを目指して、ITエンジニアの若手育成に活用できるソリューション

# アンケート回答 (4/10)

## 『大学の重要課題』に関する設問4~5

### 設問4

以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください。



### 設問5

上記以外で貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。  
(一部抜粋・省略)

- DX
- 教育研究用高性能計算機リソースの確保。
- 紙ベースの事務処理が多く残っているので、デジタル化を進めるとともにDXを実現することが優先度が高い。

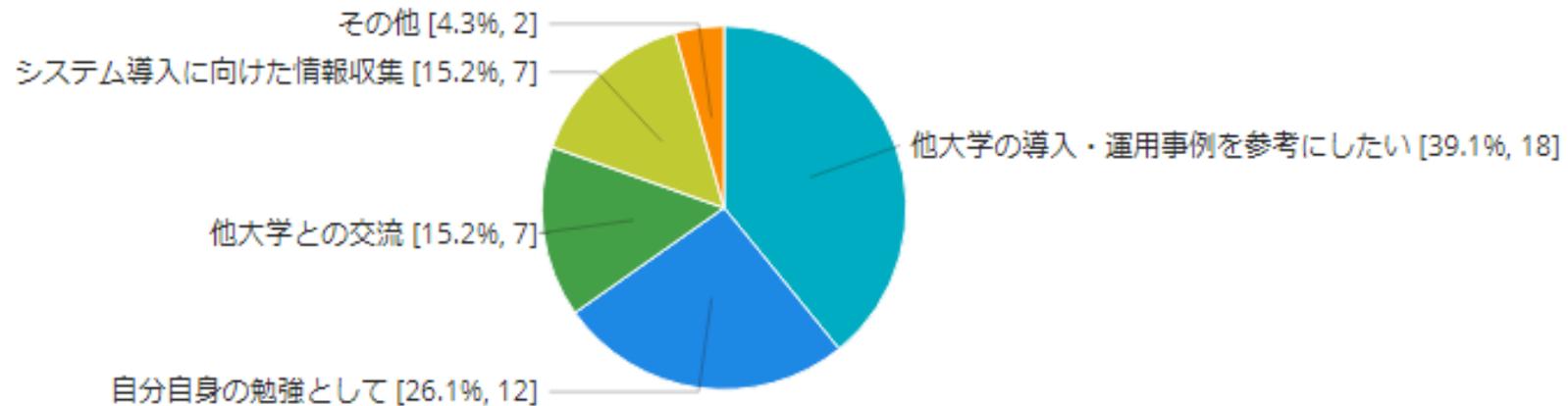
※回答が複数あったものには  
下線を引いています。

# アンケート回答 (5/10)

## 『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

### 設問6

### 参加の目的

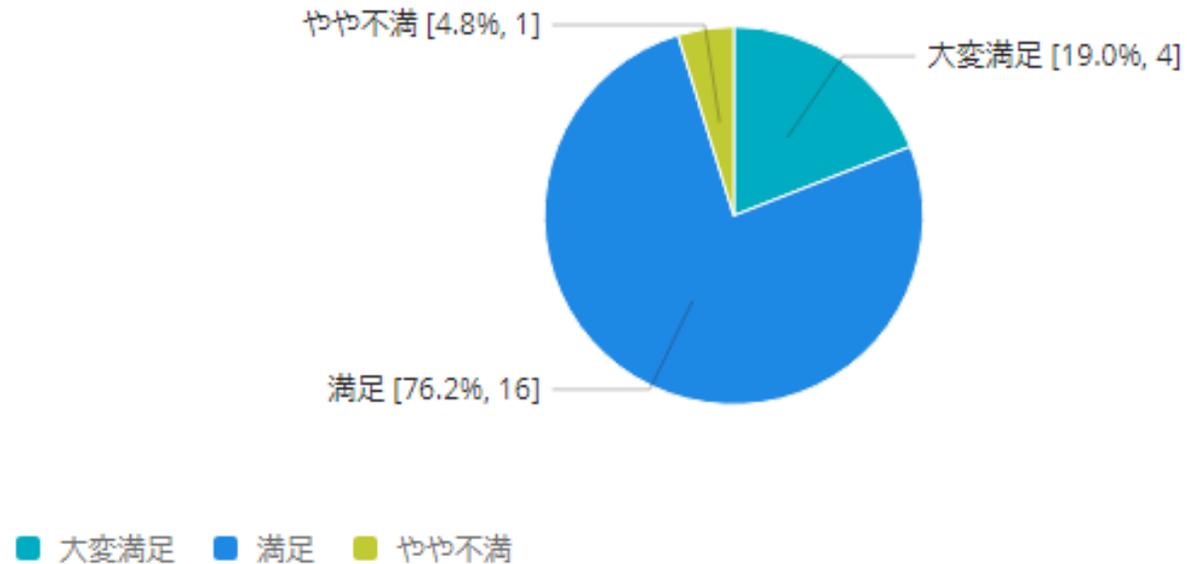


■ 他大学の導入・運用事例を参考にしたい ■ 自分自身の勉強として ■ 他大学との交流 ■ システム導入に向けた情報収集 ■ その他

# アンケート回答 (6/10)

設問7

## 全体としての満足度



満足以上 : 95.2%  
やや不満以下 : 4.8%

# アンケート回答 (7/10)

設問 8

## 全体満足度評価の理由 (一部抜粋・省略)

ポジティブ  
コメント

### ■発表の充実

- 発表が多くて、いろいろな取り組みがあることがわかった。
- 大変参考になったプログラムがあった。
- 各所の様々な様子がわかりよかった。
- 実績的な研究発表が充実していた。
- 他大学の動向がわかった
- 情報収集できるから

### ■情報交換・共有

- 多くの発表とブロック活動の報告は、非常に有意義な情報交換とシェアができた。
- 交流ができた。我々の課題と類似した発表があった。
- 本学の実践事例を他大学の教職員の方々に共有することができた

など

ネガティブ  
コメント

- 半日のプログラムに、講演件数を詰め込み過ぎていた。2日間で、午前・午後を利用して、時間に余裕を持って開催してほしい。
- 会員や参加者間の直接交流や名刺交換がないのが残念。
- 一部ただの普通の取り組みの報告のものもあった。

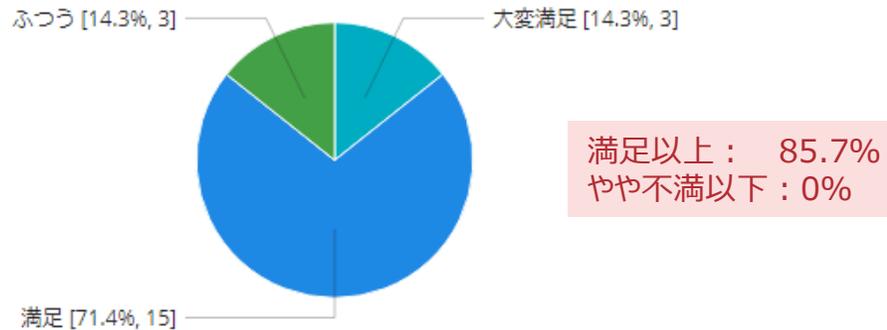
※回答が複数あったものには  
下線を引いています。  
赤字は特に多かった回答です。

# アンケート回答 (8/10)

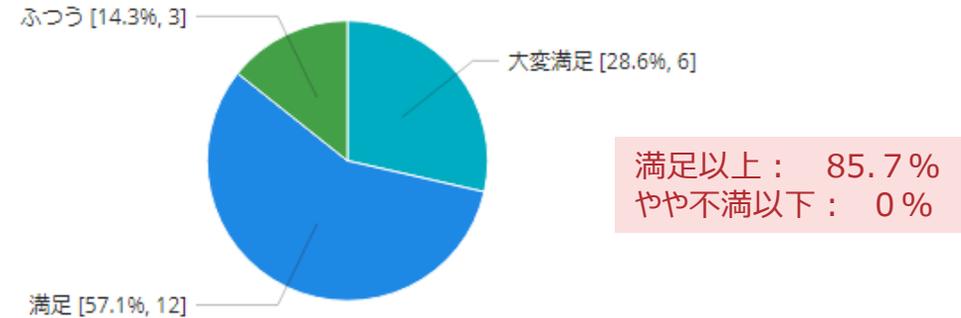
設問9

## 各観点での満足度について

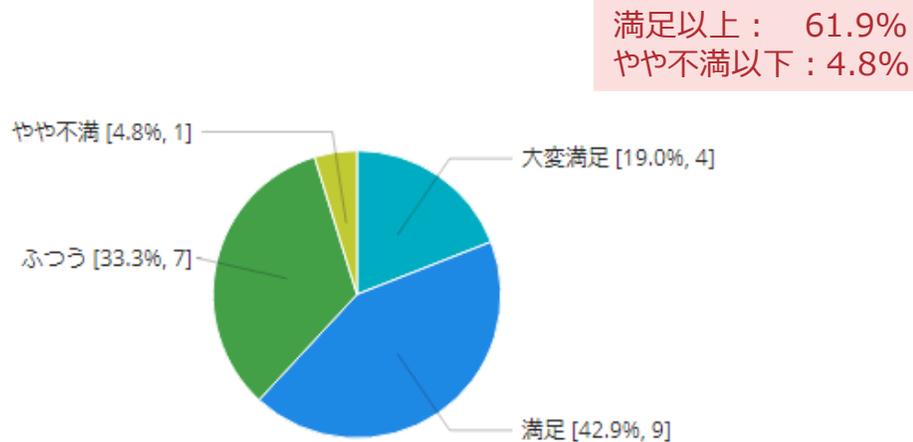
### ■ ブロック報告について



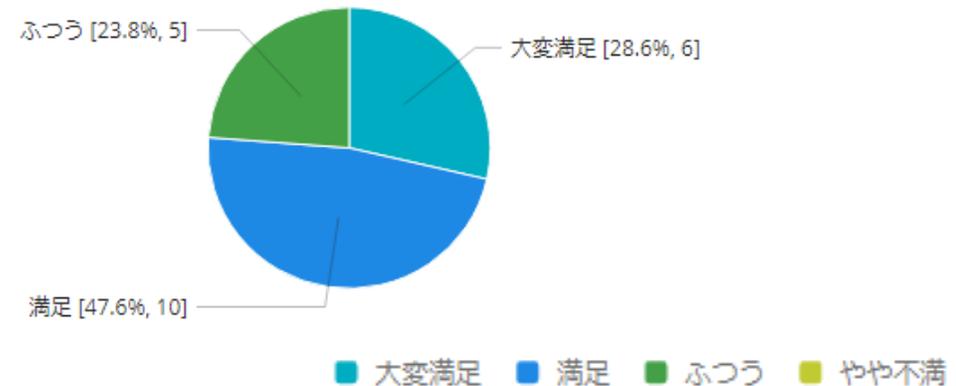
### ■ 論文発表について



### ■ 時間配分について



### ■ 当日の運営について

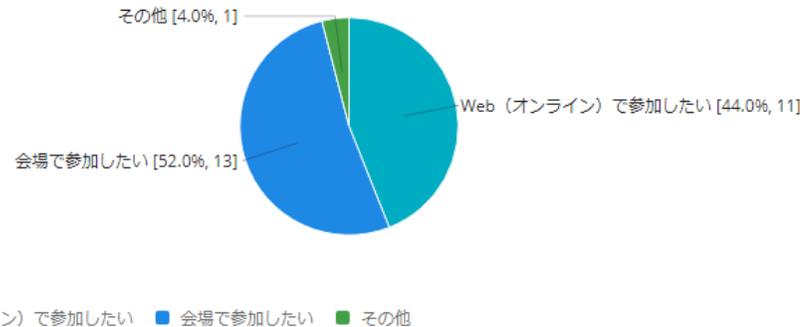


# アンケート回答 (10/9)

## 『IS研への期待・意見』に関する設問10~12

### 設問10

今後のIS研総会への参加方法についてご希望を教えてください。



### 設問11

参加方法ご希望の理由 (一部抜粋・省略)

#### ■オンライン参加

- 手軽に参加できる
- 時間・経費の節約のため
- オンライン形式にも色々と長所があるので積極的に活用したい

#### ■状況に応じて対応

- コロナ感染のリスクがある場合はオンラインで、アフターコロナになれば会場で良い
- 開催方法は問わない、臨機応変に対応する

#### ■会場で参加

- 情報交換を目的とすると他大学の人と実際会場で会いたい
- 会議以外含め、情報交換が捗る
- 懇親会なども含めて、質問などに時間的な余裕がある
- オンラインは、他の用事に気を取られる

※回答が複数あったものには  
下線を引いています。  
赤字は特に多かった回答です。

# アンケート回答 (10/10)

## 設問12

### IS研についてのご意見・ご要望 (一部抜粋・省略)

- メンバー校間の交流などを支援する場づくりが重要。そのため、事務局の支援のもとで世話人会議で今後のIS研の活性化の方策を考えて進めて行くことが必要。また、IS研とCS研との交流について、オンライン方式の利活用が有効な手段の一つでしょう。
- もう少し情報交換の機会があるとよい。
- 今回は、少し時間的に長丁場だったと感じている。
- IS研、CS研 情報交換サイトの宣伝
- 九州地区は大学間の繋がりがあるように思う。このまま継続できたら良い。
- CS研とももっと積極的な交流・情報交換ができると、さらに様々な事例が揃いそうで良い。
- 若手の発表者が増えてほしい。実証結果や失敗談が掲載される論文・発表会になってほしい。



---

この資料は、IS研の資料です。

IS研・CS研会員の組織外および富士通グループ外への公開・配布はご遠慮ください。

## 国公立大学情報システム研究会 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内

ホームページ : <https://csis.ufinity.jp/isken>

E-mail : [fj-isken-bureau@dl.jp.fujitsu.com](mailto:fj-isken-bureau@dl.jp.fujitsu.com)